

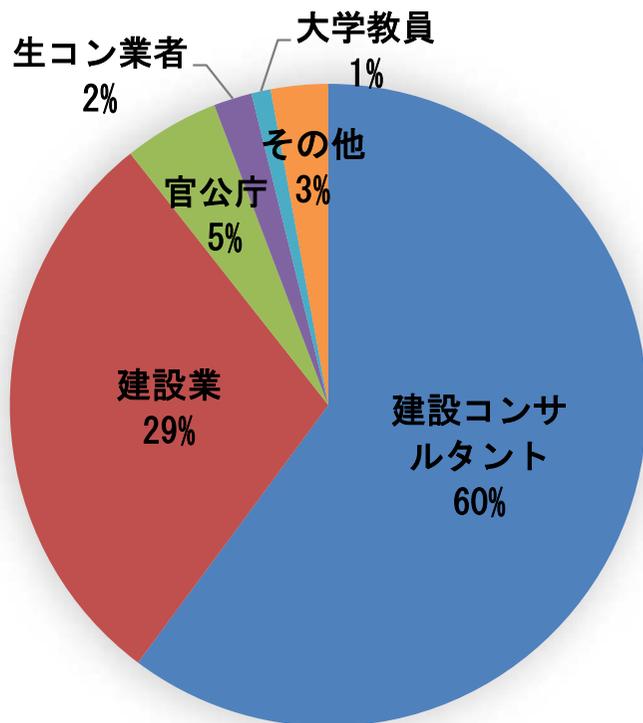
「島根県コンクリート診断士会の活動の紹介」

1. 会員構成
2. 組織の構成(役員一覧表)
3. 主な活動内容
4. 令和4年度の活動紹介
5. 令和5年度の活動計画

1. 会員構成

- ・設立年: 2005年6月(18年経過)
- ・会員数: R5.4.1現在
 学術会員1名 正会員104名 賛助会員32社
- ・活動地区: 島根県

会員別業種別分類



職種構成

| | |
|-----------|-----|
| 建設コンサルタント | 63人 |
| 建設業 | 30人 |
| 官公庁 | 5人 |
| 生コン業者 | 2人 |
| 大学教員 | 1人 |
| その他 | 3人 |

年齢構成

| | |
|---------|-----|
| 30～40歳台 | 30% |
| 40～60歳台 | 50% |
| 60～70歳台 | 20% |

2.組織の構成(役員一覧表)

| 役職 | 氏名 | 所属 |
|-----|------|-----------------|
| 会 長 | 松浦寛司 | (株)エイト日本技術開発 |
| 副会長 | 平田 守 | カナツ技建工業(株) |
| 幹 事 | 井田 豊 | (株)太陽建設コンサルタント |
| 理 事 | 大島清司 | 今井産業(株) |
| 理 事 | 小野大輔 | 森島建設(株) |
| 理 事 | 幸前 徹 | (株)シマダ技術コンサルタント |
| 理 事 | 中村裕大 | 島根県土木部 |
| 理 事 | 足立孝之 | 足立工業(株) |
| 監 事 | 西田修三 | NTEC(エヌテック) |
| 事務局 | 余村 浩 | (株)ウエスコ |

3.主な活動内容

- 1.理事会 ⇒ 4回/年
- 2.研修会(総会時、新年例会、山陰両県) ⇒ 3回/年
- 3.現場見学会 2回/年
- 4.講師派遣
⇒ 島根県建設技術センター
- 5.公共土木施設コンクリート構造物の点検・診断支援
制度に基づくアドバイザー派遣 ⇒ 要請により随時
- 6.島根県道路長寿命化修繕計画策定委員会への参画
- 7.国土交通省中国地方整備局と中国5県コンクリート診断
士会との意見交換会

4.令和4年度の活動紹介

| 日付 | 事業名 | 内容 | 参加者等 |
|---------------|--|--|----------------------------------|
| 6月1日 (水) | 現場見学会 | 波積ダム本体建設工事 福光・浅利道路本谷東地区第1改良工事 | 会員 14名 |
| 6月18日 (土) | 総会及び 技術研修会 | ①鋼構造物のさびと疲労損傷 ②松江市恵雲処理場躯体劣化調査 ③橋梁メンテナンスにおける新技術活用例 | 会員 45名 |
| 6月27日 (月) | 中国地整と中国5県コンクリート診断士会の意見交換会 (12/13:中国5県コンクリート診断士会協議会) | | 松浦、竹下(、余村) |
| 9月3日 (土) | 第6回山陰両県コンクリート診断士会合同研修会 | | 発表者 上野、青戸 |
| 9月29日 (木) | 第14回土木技術 講習会 | ①下水道施設のコンクリート劣化と補修・補強技術 ②橋梁補修工事の事例紹介 ③鋼橋の補修・補強事例の紹介 | 講師派遣 北村、青戸、 松浦 受講者 105名 |
| 11月11日 (金) | (社)日本コンクリート診断士会業務体験報告会 「下水道施設のコンクリート劣化と補修・補強技術」 | | 北村会員 WEB発表 |
| 2月11日 (土) | 新春研修会 | ①道路メンテナンスの今日的課題と今後の方針 ②橋梁維持管理システムの概要及び活用 ③鋼材破断を検出する非破壊検査技術 | 会員 41名 |

具体的な活動状況

現場見学会

- 波積ダム本体建設工事
（コンクリート打設状況の現場見学）
- 福光浅利道路本谷東地区第1改良工事
（橋台工でのCIM活用，地盤改良のICT施工を見学）
- 会員14名参加



具体的な活動状況

新春研修会

- ・講演①

「道路メンテナンスの今日的課題と今後の方針」

国土交通省中国地方整備局 梅田俊夫氏

- ・講演②

「橋梁維持管理システム (BMSS)の概要及び活用」

(株)IHIインフラシステム 西口浩之氏

- ・講演③

「コンクリート構造物内部の鋼材破断を磁気センシングとIoTで
検出する非破壊検査技術 (SenriganN)」

コニカミノルタ株式会社 森田博氏

- ・会員41名参加



5.令和5年度の活動計画

| 日付 | 事業名 | 内容 | 参加者等 |
|--------------|------------------------------------|--|--------|
| 6月17日 (土) | 総会及び 技術研修会 | 於：松江テルサ 大会議室 ①NET ZERO2035 実現に向けて ②生コンクリートの技術的課題とこれからの展望 | 55名 |
| 8月10日 (金) | 第7回山陰両 県コンクリート 診断士会合同 研修会 | 於：米子コンベンションセンター 特別講演：江本准教授(鳥取大学) 90分 研究発表： (1)鳥取県コンクリート診断士会 1名 (2)島根県コンクリート診断士会 1名 | 60名程度 |
| 9月21日 (木) | 第15回土木 技術講習会 | 於：くにびきメッセ 講師：上野准教授(島根大学) 会員：金村、足立、松浦 | 100名程度 |
| 10月 | 現場見学会 | 場所：IPH工法工事現場 | 20名程度 |
| 2月 | 新春例会 | 基調講演：未定 講師：未定 | 60名程度 |

6/17 研修会



講演①

「NET ZERO2023に向けて」(WEB配信)

曾澤高圧コンクリート(株) 酒井 氏

- ・ 自己治癒コンクリート開発による構造物の長寿命化
(バクテリアの代謝作用により炭酸カルシウムが生成され、ひび割れを閉塞させる技術)
- ・ 生コンクリートへのCO2の固定化



講演②

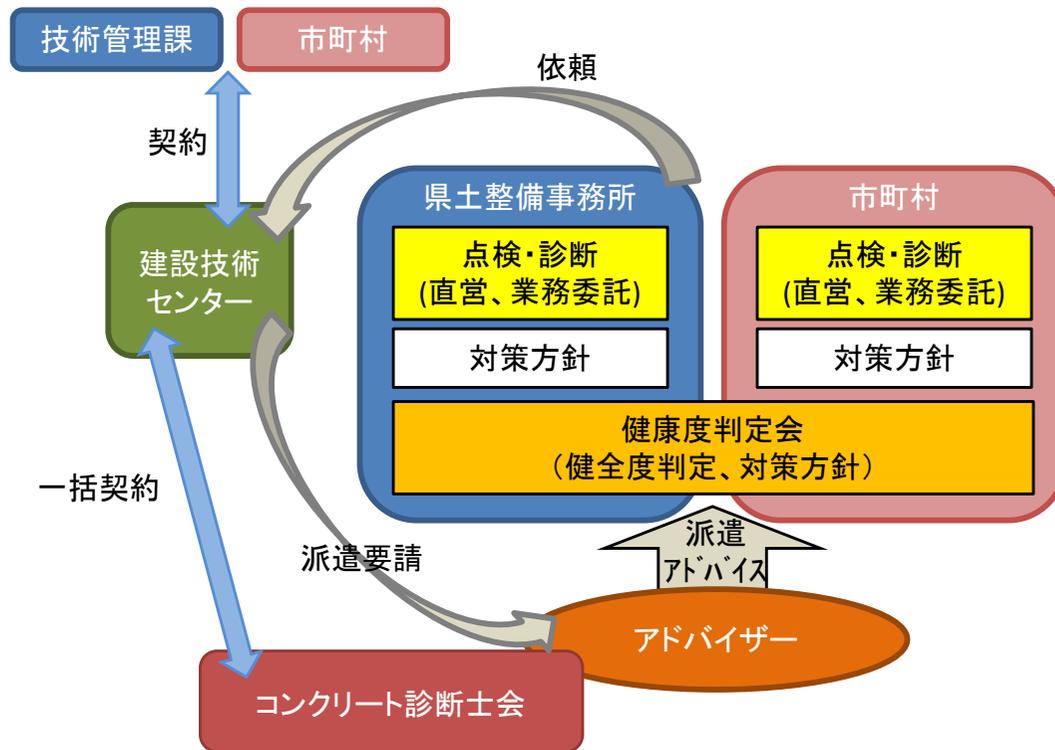
「生コンクリートの技術的課題とこれからの展望」

福井県コンクリート診断士会 石川 氏

- ・ 福井県でのコンクリートの劣化: ASR、塩害、凍害が主要因
- ・ 対策: フライアッシュセメントの有効性と使用上の留意点
- ・ 高炉セメント: 以前に比べ初期強度が高くなったことより、
断熱温度上昇量→大
温度ひび割れに対する有効性→低下

※アドバイザー派遣制度

H28年度より実施 ⇒ H29.7「第1回インフラメンテナンス大賞」<国土交通省案件> 優秀賞受賞



制度導入の効果（目標）

- 1.点検・診断結果の精度向上と全県的な成果(品質)の均質化
- 2.県、市町村職員の維持管理技術力の向上(実践的教育訓練)
- 3.外部委託業者(コンサルタント)の技術力の向上
- 4.診断士会へ判定事例のフィードバックと会員への情報提供

実態

- 1.R4年度:コロナの影響により判定会の開催が中止になるケース有り。
- 2.判定に苦慮されている案件は、個別での相談を受けるケース有り。
- 3.県・市町の直営点検案件より、委託業務案件に関する相談が多い。
- 4.トンネルに関しては、すべて委託業務案件である。